



ごあいさつ

新型コロナウイルスは、変異を繰り返してオミクロン株が猛威を振るっています。3年目に突入したので、そろそろ終息してほしいと思っています。活動も制限されたままですが、感染防止対策を施した上で、なんとか皆さんと交流する機会をつくってきました。自然保護活動も、当会としての役割を果たせるように、関係者に働きかけるなどの対応を続けています。久しぶりに会誌を発行して、今年度のこれまでの活動報告や、今後の予定についてお知らせします。皆さまの参加をお待ちしております。

代表世話役 西本 孝

1 活動報告

みやま公園のセトウチサンショウウオの保全

西本 孝

- 場所：みやま公園（玉野市）
- 日時：2021年10月3日（日）10～12時
- 内容：絶滅が心配されているセトウチサンショウウオの生息地で現地の様子を視察し、現地で永年活動している藤原淳子さんから、これまでの経緯を説明していただいた。
- 玉野市へのお願い：生息地での保護を目指して、藤原さん、山田勝さん、西本の3人で玉野市役所を訪れて、関係部署の都市計画課と環境保全課の担当者に、絶滅が危惧される現状を説明し、公園管理の際に配慮すべき点について提案し、協力を依頼した。
- 玉野市の回答：後日、3人でみやま公園を再度訪問して、現場で管理している玉野市緑化協



会の担当者2名と玉野市の担当者2名と一緒に、具体的に実施してもらいたいことを伝えたところ、現場の担当者からは、配慮することは全くできない、との回答があった。その理由は、多くの人々が利用している公園なので、種々のクレームがあり、配慮したことに対しては責任が持てない、という、生きものの保護には全く関心の無い反応であった。

ただ、現場に立ち会っていた市の環境保全課の担当者が、自分たちで配慮すること（たとえば卵塊を安全な場所に移動させることなど）は良いのではないかと提案があり、了承された。これを受けて、当会で、3月に卵塊を保護する活動を実施することになった。



忘年会（有志のみ）

西本 孝

- 趣旨：感染が落ちついていた12月19日、e-Tam 自然と教育研究所（西本事務所）に有志が集まり、勉強会、情報交換会、実習、ささやかな忘年会を開催した。
- 内容：①石川さんからの話題提供で勉強会、②橋本さんの指導で、ミニ門松づくりの実習、③玉野市のセトウチサンショウウオの現状と対応、風力発電計画問題と対応、④交流会



- 内容：鏡野町の大空山を含む山塊の稜線部で、大規模な風力発電所を建設するという計画
- 事業者の計画案：事業者は、環境影響評価の審査を受けるために、第一段階となる「配慮書」を県に提出し、配慮書は、県や真庭市などのホームページで公開された。
- 学術団体や保護団体の反応：日本生態学会の中国四国支部会、日本自然保護協会、日本野鳥の会などの団体は、環境影響への配慮がなされていない点を指摘し、自然環境を適正に保全できるような対策を講じた計画をたてることを求めた意見書を提出するとともに、ホームペー

ジで意見書を公開した。

- 今後の対応：開発域は、地理的な位置から、温暖化や寒冷化などが繰り返された気候変動に対して、動植物の待避地（レフュジア）となっていた可能性が高いと考えられている。開発予定の山域に降った雨は、土壌や岩の隙間を経て地上に出て、流れ出した水によってつくられた白賀溪谷には、希少な動植物が数多く生息・生育している。今後、現地で学習会を開催するとともに、さらに詳細な調査を実施して、希少な動植物の全容を明らかにして、保護地区として指定することを目指す。

2 今後の活動予定

セトウチサンショウウオの保全活動

藤原淳子

- 日時：3月13日（日）10時～12時
- 場所：みやま公園（玉野市）
- 活動内容：公園内の用水路に産卵されているセトウチサンショウウオの卵塊を観察して、適

切な場所に移動させる。

- 参加希望者の連絡先：
藤原淳子：mutica7o@outlook.jp
西本 孝：taknishi@js4.so-net.ne.jp

総会

橋本智明

- 行事：令和4年度の年次総会
- 日時：6月12日（日）10時～
- 場所：e-Tam 自然と教育研究所
（岡山市北区玉柏 1939-3）

- 内容：活動報告と会計報告、情報交換
- 日程は参加希望者に後日連絡いたします。
- 連絡先：
橋本智明 michikusa@mist.ocn.ne.jp

フサヒゲルリカミキリの個体数調査

西本 孝

- 日時：1回目：6月19日（日）10時～
2回目：7月17日（日）10時～
- 場所：蒜山高原の生息地
- 特徴：国内では、蒜山高原が唯一の生息地で、山焼きの継続による草原の再生活動とともに、個体の生息環境の整備が進められている。

- 活動内容：2015年から継続している毎年2日間の調査を今回も実施する。生息域に設けられた調査区で、成虫の生息数とユウスゲの株数を数える。

- 連絡先：
西本 孝：taknishi@js4.so-net.ne.jp

